



講師：田中 熙巳さん (93歳)
1932年中国東北部（旧満州）生まれ。中学1年生の時に長崎で被爆し、親族5人を亡くす。東北大学工学部助教授として定年まで勤め、その後十文字学園女子短期大学教授に。1972年から被爆者運動に関わり、2017年6月より日本被団協代表委員。国連軍縮特別総会をはじめ、国内外での被爆の実相の証言活動を行う。2024年日本被団協がノーベル平和賞を受賞。12月10日ノルウェー・オスロで開かれた授賞式で受賞演説を行う。新座市在住。

ピースフェスティバル2025特別講演 ノーベル平和賞受賞・日本原水爆被害者団体協議会 代表委員 田中熙巳さん講演会

「平和な未来へのあゆみ ～核兵器のない世界へのメッセージ～」

- ◆とき：9月20日（土）
13時30分から15時30分（13時開場）
- ◆参加費：無料
- ◆ところ：鶴瀬公民館ホール
- ◆定員：200名（申込順）
- ◆申込み：9月3日（水）から9月18日（木）平日9時から17時



田中さんが代表委員を務める日本被団協について

47都道府県のそれぞれにある被爆者（広島・長崎で原爆の被害を受けた被害者の生存者）の団体の協議会で、被爆者の唯一の全国組織です。核兵器廃絶と原爆被害への国家補償を求めて活動しています。

私が広島市に到着した時にまず感じたことは、街並みや自然の美しさです。今の広島市街には広い車道に沿って街路樹が植えられており、平和記念公園に向かう道中には美しい川が流れていました。川沿いには多くの人が集まり、友人や家族と楽し気に話をしています。

79年前の8月6日。広島市に一発の原子爆弾が落とされました。このことは学校で誰もが習うはずですが、しかし、ほとんどの人がそれ以上の理解はできていないと私は思います。私は中学校の修学旅行で長崎の平和資料館を訪れた際に、被爆された方の話を聞く機会があり、今と同じ被爆地である広島にも実際に足を運び、戦争と平和に対するより深い理解につながるため、この体験学習に応募しました。

毎年8月6日に開催されている「広島市原爆死没者慰霊式」に市びに平和祈念式典に市民を派遣しています。この文章は、昨年派遣された当時高校2年生の金野琴莉（きんのこのとり）さんによるものです。

2024ヒロシマ平和体験学習報告文

その川にかかる橋を渡るとすぐに平和記念資料館がありました。そこには原爆が落とされた当時の写真やその惨状を描いた絵が数多くあり、皮肉がたたり横たわっている人の写真や落ちそうになっている自分の目玉を手で支えている人の絵。私が数分前に見た今の美しい広島街並みも悲惨な戦争で一度は焼野原となっていたこと。決して教科書の文章だけでは伝わってこない原爆の恐ろしさをひしひしと感じました。

展示物の中でも特に記憶に残っているのは「魂の叫び」です。そこには原爆によって亡くなられた人びとの出生などについて書かれた文章と遺留品が展示されていました。それらを見ていて強く感じたのは、彼らが「人」であること。友だちや家族、愛する人がいたこと。原爆が落とされる直前までいつものように暮らしていたこと。何の罪もない多くの尊い命が一瞬にして失われたこと。私は学校の授業で広島市の被爆について学び、戦争が何も生まない、いかに愚かであるかは学んできたはずでした。しかし、広島平和学習に参加するま



悲惨な戦争が世界各地で起きています。今こそ、より深く過去に起きてしまった戦争について理解し平和な世界にしていくなために互いに手を取り合うことが必要なのではないかと、この体験学習を通して強く感じました。（2024年8月記）

で、心のどこかで「平和な現代を生きている私たちには身近なことではないな。」と感じていたのかもしれない。私たちは二度とこの過ちを繰り返さないために、戦争の悲惨さや、戦争で得られるものは何もないこと、命の尊さを正しく学び、語り継いでいかなければなりません。日本が最初の被爆国であることは残念ながら変えられませんが、最後の被爆国になるかはこれからこの時代を生きている私たちの努力次第です。人はみな異なること。そのことを理解し、認め合うこと。

公民館だよりを読んだのご感想やご意見をお寄せください。電話・FAX・窓口で受け付けています。

ピースフェスティバル2025

テーマ：被爆・戦後80年 戦争も核兵器もない世界を！

☆ピースフェスティバルの目的☆1987年に富士見市が行った「富士見市非核平和都市宣言」の理念を多くの市民に広めるとともに、平和について考える機会を提供します。市民実行委員会や多くの市民との協働により今年で39回目を迎えました。戦いのない平和な世界を願い、市民手作りのイベントに足を運んでみませんか？

日時：9月20日（土）・21日（日） 10:00～16:00

入場料：無料 主催：富士見市ピースフェスティバル実行委員会・市・市教育委員会

※詳しくは、ホームページをご覧ください。



<主な内容>

舞 台

会場：ホール

【9/20（土）】

11:00～ 平和祈念のつどい

- ・オープニング 鶴瀬小学校合唱部
- ・富士見市非核平和都市宣言文の朗読 ほか
- ・富士見市民の戦争体験を聞く (DVD)
7月2日、西中学校の平和祈念講演会で萩原弘さんがイラスト付きで戦争体験を語った映像)

13:30～ 特別講演

テーマ：『平和な未来へのあゆみ～核兵器のない世界へのメッセージ～』

講 師：田中熙巳氏（日本被団協代表委員）

※要申込。詳細は3ページ目に掲載。

【9/21（日）】

10:30～ ピースステージ①

Music Zooリトミカル（合唱、歌唱）
富士見高校ジャグリング部
鶴瀬西交流センター紙芝居ボランティア
Crescent（ダンス）

14:00～ ピースステージ②

富士見市三曲協会（箏）
MISA KID☆S（ダンス）
コーラス歌音
フラサークルオリオリ

展 示

会場：第1～3集会室、
ホールロビーなど

- ◆企画展示『いまこそ核兵器廃絶へのあゆみを「日本被団協ノーベル平和賞受賞を受けて」』
- ◆広島の高校生と被爆者との共同制作による「原爆の絵」（複製）
- ◆市民平和作品展：富士見高校（書道部・美術部・写真部）放課後児童クラブ（絵画）市民サークル（俳句、絵画、写真など）
- ◆小学6年生によるピースカード
- ◆ヒロシマ平和体験学習報告コーナー
- ◆市民平和メッセージ
- ◆萩原弘さん（鶴馬在住）イラスト（戦時中の生活や学校・戦争の様子）
- ◆富士見市の戦争資料展示 ほか（難波田城資料館 所蔵資料）



ふれあい広場

会場：いきいき活動室
※時間はお問い合わせください

- 昔あそび
（21日のみ、午前10時～午後4時）
- 折り紙体験（21日のみ、午前10時～午後3時）
- ピースワードさがし（両日）

模擬店

会場：中庭など

- うどん ■手芸品（21日のみ）
- パン、ペットボトル飲料、リサイクル衣料・雑貨